

2021.  
MARCH

N  
O427

# NOZOMI

Stand Out! ～次世代がより豊かになる<sup>まち</sup>仙台へ～

## 03 | 理事長対談 ■ 次世代がより豊かになるまちづくり



仙台経済同友会 代表幹事  
アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長

### 大山 健太郎

Kentaro Ooyama

Keita Sugawara

公益社団法人 仙台青年会議所  
第70代理事長

### 菅原 啓太

Special Talk

Contents

02 | 理事長挨拶

08 | 新入会員募集

10 | 事業報告

12 | 委員会紹介

15 | 編集後記



<https://www.sendai-jc.or.jp>

公益社団法人 仙台青年会議所 2021年度広報誌

本誌は仙台青年会議所の運動を幅広く一般の方々に発信するための広報誌です。  
仙台青年会議所公式ウェブサイトでも本誌に掲載された内容をご覧いただけます。



## 理事長挨拶



### 公益社団法人仙台青年会議所 第70代理事長 菅原 啓太

平素より当青年会議所に対し、格別のご高配を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目指し、まちづくりやひとづくりを行っている団体です。仙台青年会議所も1951年に全国で11番目の青年会議所として誕生し、本年度創立70周年を迎えます。この間、より良いまちの未来を実現するために、様々な事業の実施や政策提言を行い、地域発展に取り組ん

でまいりました。ここまで活動を続けることができたのも、日頃からお支えをいただいている市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様のお陰様でございます。改めて感謝申し上げます。

社会は人口減少局面にあります。団塊の世代が誕生した頃の出生数に比べ現在の出生数はその3分の1程度となり、人手不足の時代です。これまで東京一極集中であった時代から、企業は働き手を求めて地方に拠点を増やし、地方と都市との垣根が無くなってきており、新型コロナウイルス感染症拡大によって広がった働き方の変化も、これに拍車をかけています。まさしく地方の時代が到来している中、私たちが住まう仙台も如何に選ばれ続けるまちとなれるかが重要です。

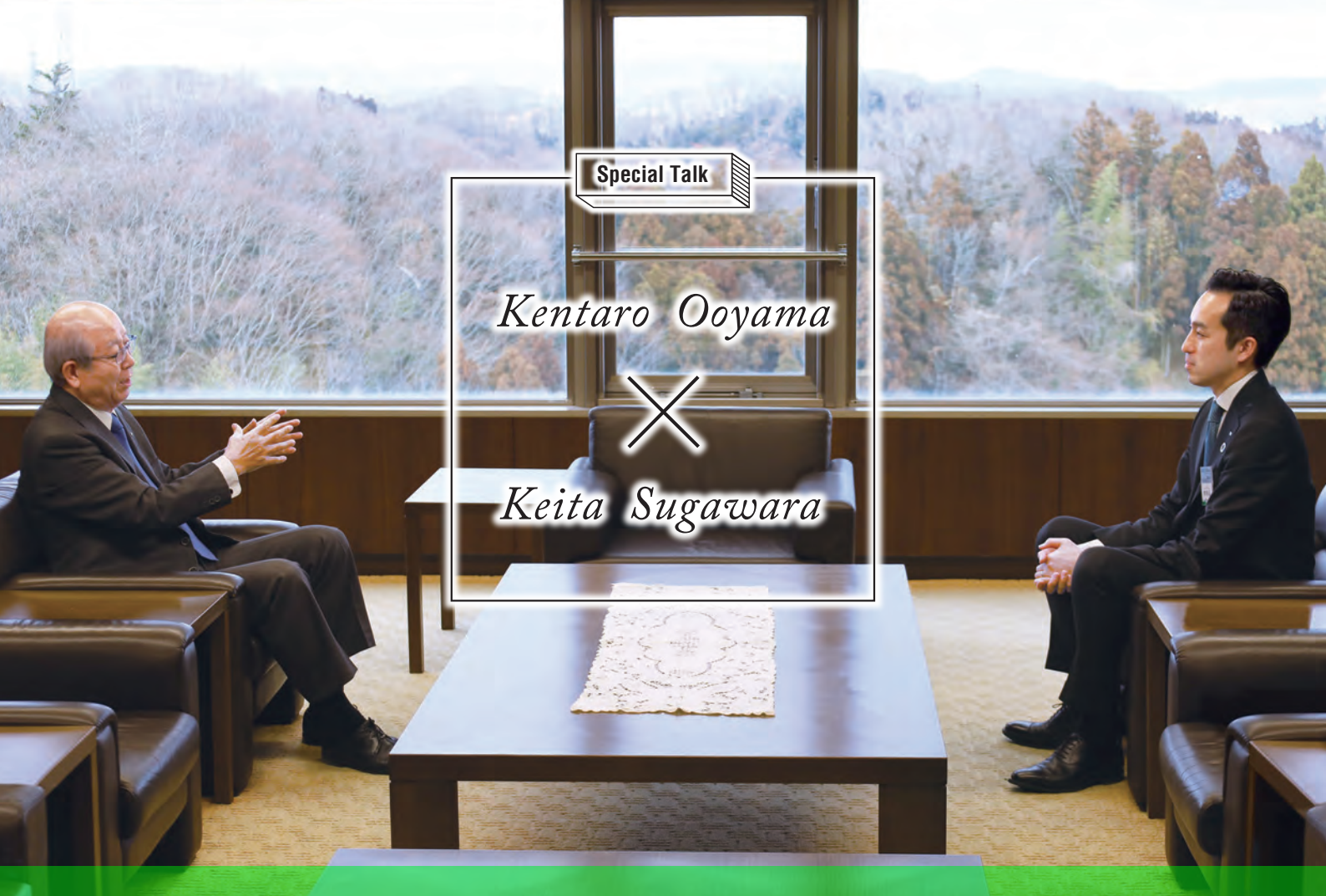
青年会議所は地域の課題を解決することに重きを置いています。仙台における課題も様々ありますが、私たちはこの地域にしかない強みや良い点を引き伸ばすことに力を注ぐことにより、課題を解決に導くことに挑戦していきたいと考えています。それでこそ、仙台にしかできないまちづくりが可能となり、選ばれ続け

るまちの実現へとつながるのです。

今年の仙台青年会議所は「Stand Out!」次世代がより豊かになる仙台へ」をスローガンとして掲げております。「Stand Out」には「飛びぬける」や「抜きん出る」といった意味があります。物事に取り組む前からできない理由を述べるのではなく、青年らしく何事にも挑戦し、良い意味で大胆に物事を表現し、目立ち、抜きん出ていきましょうという想いを込めました。このスローガンを通して、私たちは仙台を「時代や世代を超えて、誰もが住み続けたいと思えるまち」にしたいと考えています。若い人たちが希望を持ち、このまちの未来を思い描き、その実現を地域一体となってサポートする環境を整えることは、選ばれ続けるまちとなるための第一歩です。しかし、これは仙台青年会議所だけで実現できるものではなく、日頃お支えをいただいている皆様からのご理解とご協力があつてこそ成り立つものと考えております。

今後とも市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様から変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。





Special Talk

*Kentaro Ooyama*



*Keita Sugawara*

## 理事長対談

仙台経済同友会 代表幹事  
アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長

大山 健太郎

公益社団法人 仙台青年会議所  
第70代理事長

菅原 啓太

### 次世代がより豊かになるまちづくり

アイリスオーヤマ株式会社社長大山健太郎氏は、56年前、社員数5名の会社からスタートし、  
今や仙台を代表する世界的な大企業へと成長に導きました。

今回は、仙台経済同友会代表幹事でもある大山会長に  
コロナ禍・アフターコロナと時代が変化する中でどう対応し、  
社業繁栄とより豊かなまちをつくるための考えをお伺いいたしました。

**菅原理事長（以下、菅原）** 仙台経済同友会の代表幹事であられる大山代表幹事にお話をお伺いしたいと思い、対談をお願いさせていただきました。よろしくお願いたします。

**大山会長（以下、大山）** はい。こちらこそよろしくお願いたします。

『まちづくり提言』  
〜ニューノーマルなまちづくりとは〜

**菅原** 2020年末に仙台経済同友会さんで考案した『まちづくり提言』ですが、私たち青年会議所も、まちづくりに貢献する団体として、同じ仙台で『まちづくり提言』を出された経緯に大変興味がございます。仙台経済同友会として描いているまちの未来像と合わせて、是非考えをお聞かせいただけますでしょうか。

**大山** 仙台経済同友会としても、まちづくりはもう5年前から取り組んでいました。活動に至った背景として、宮城県はこの先10年間で生産年齢人口が12%も減ります。また、もう一つの問題は東京への一極集中です。なぜ東京に大企業の本社が密集するのだろうと考えました。それは企業側の効率論であって、東京で働く人にとってみれば2時間も1時間半も往復の満員電車に乗ることは大変だろうと思います。世界的に見てもそんなの日本だけです。その受け皿として、やはり仙台が東京から新幹線1時間半という立地を考えると、今までのまちの在り方を大きく

変えないといけないと思いました。今まで仙台のまちづくりは、高齢者にとつて優しい、住みやすいまちをテーマに



考えられてきました。これはこれで僕は非常に正しいと思いますが、まさにこれから人口が減っていく中で、コロナ禍によって新生活様式というニューノーマルな形を求められ、今までの都市づくりのやり方では駄目ということになりました。これからは活躍する若者が仙台で住みたいというまちづくりが必要ですが、もちろん高齢者を大事にしないといけないけど、それだけではなく若者が定着するまちにしないといけない。実際問題、仙台から東京に毎年のように若者は流出します。それを止めるためにはもうすこし目標を変えていこうというのが今回のまちづくりに対する基本的な考え方です。

**菅原** ありがとうございます。先日、

当青年会議所で新年式典を開催し、私の所信を述べさせていただきました。特に取り上げたいのは若い人たちの流失が流入よりも超過しているということです。その理由はさまざまありますが、やはり若い人たちが希望を持ってないということも理由の一つにあると考えております。

まちづくりもハードとソフトとありますが、当青年会議所としては地域の大学生をはじめ若い人たちがそこに居続けたいとか住み続けようと思ってもらえるような一つの仕組みづくりをソフト面で実行していこうという話をしました。仙台経済同友会さんの「仙台まちづくり提言」では、まちの中心となる定禅寺通りと国分町周辺の再開発に対して、規制緩和をすることにより、



定禅寺通りの一部を歩行者天国にすることなどで、これからの時代のまちのぎわい創出につながるとあります

た。ハード面で若い人たちを引きつけることで、自分たちのやりたいことを描けるようなまちだと感じることにつながっていくのではと思います。それが実現できれば、非常に魅力的に感じました。やはり若い人たちをいかにこのまちに居続けていただくか、あるいは仙台を目指して来ていただけるかは非常に重要な点と感じました。

**大山** 若者が定着するためには条件が二つあります。住みやすいまちも一つの条件ですがこれだけでは駄目です。残念ながら仙台は支店経済なので自分が希望する就職先が少ないのだと思いますが、地元の中小企業も頑張っています。学生のしてみれば、せつかく4年間勉強したのだから、より大きなステージで働きたいという気持ちがあるわけです。同友会としては仙台市に対して、都市再開発プロジェクトで容積率を緩和するとか施策を検討してもらいたと考えています。大企業のバックオフィスなり、本社を持つことが重要です。まず働く場がなければいけません。こちらが若者の定着するために必要なもう一つの条件です。

現在の仙台は新しいビルも駅前にごんと建って駅前中心型になっています。本来は一番町から勾当台にかけて一つの大きな商業エリアだったのが、衰退しています。今回の取り上げている、定禅寺通りと国分町の問題は、新型コロナウイルス感染症拡大によって国分町の飲食店が一説によると3分の1は破綻寸前、店を畳むという話も聞きました。僕はこのような状況は、ピン



子ではなくチャンスと考えます。みんなが繁栄している状況ですと、別に新しいまちをつくらなくても良いとなります。しかし、今のコロナ禍の状況がなくなつたとしても、もう一度、国分町や定禅寺通り周辺で飲食や他の事業をできるかというと、相当厳しいと思います。それを考えると定禅寺通りというのは、仙台の中で一番の宝と考えます。あれだけの車線で真ん中に歩道があつてケヤキ並木があるまちは他にないと思います。

**菅原** 定禅寺通りはこのまちならではの場所であると思います。仙台駅から雨に濡れずにアーケードを15分程歩いて行けるような場所が中心部にあるということが他の地方都市を見てもないと思います。大山代表幹事がお考えになる仙台だからこそできるまちづくりやあるいは経済的な視点でもよろしいので何か思われることはありませんか。

**大山** 僕はやっぱり仙台は文化都市にしていきたいと思えます。もちろん今から工業都市は無理だと思えますし、消費都市としては東京に勝てるはずないですが、文化でいいですと、範囲は広くてもスポーツは楽天ゴルフ、インーグルスやベガルタ仙台があり、楽都仙台とも名高い音楽の都で、仙台フィルハーモニーがあります。僕は音楽が大好きなのでいろいろ聴きますが、仙台フィルはレベルの高い楽団です。それは音楽ホールを通じてというようにもありません。

また、もう一つの学もあります。それは学生の学です。宮城県は人口が減りますが仙台市の人口が減らないのは、大学4年生が卒業してくれずとまた新1年生が入ってくるからです。これは、ずっとつながります。常に他のまちは時間とともに高齢化していく。もちろん仙台も高齢化しますが、一定数の若者は東北から集まってきました。若者のアクティブさが重要となつてくると思えます。

**菅原** そうですね。2020年の9月に大山会長が出版された書籍、『いかなる時代環境でも利益を出す仕組み』も拝読させていただきました。地方と都市の垣根がなくなる時代は、この状況においては今まさに到来していると思えます。

### 人口減少問題から考えるまちの未来とビジネス展開について

**菅原** 人口も、出生数も団塊の世代が

出生された頃と比べますと、3分の1ぐらいになっていきます。そうなりますと、もう企業が働く人を探し求めに地方に来るといふ時代になっていきます。そこで、チャンスがやはり地方都市にも来ていると感じます。多くの方々が何かしらの企業に属していて、地方でいかに経済活動をしっかりとやっていくかどうかがまちづくりりに大きく関わってくると思つていきます。需要創造型の商品サービスの展開ができるかどうかは、地元の中小企業であっても非常に重要な視点だなと思つていきます。そこで生き残れるか生き残れないかが大きく変わってくるだろうとも考えます。特にこの時代のそういう垣根がなくなるところにおいては、非常に左右されるなと思つていきます。

**大山** メンバーの方々には様々な職業、役職の方がいらつしやるかと思つてます。その中には、家業を継承された方、もちろん創業者の方、従業者の方もあると思つてますが、それぞれの社業、家業というものに励まれているかと思つてます。

**菅原** そうですね。

**大山** 結局、業種業種です。たとえば、冠婚葬祭業、建築業、菓子製造業などいろいろあります。どんな業種であっても、現実問題として人口は減っていきます。宮城県は、10年間で生産年齢人口が12%減ります。東北全体でいうと秋田県は21%、青森県は19%、山形県が15%、岩手県、福島県は17%減り

ます。まだ宮城県は少ないです。皆さん方は、東北をベースで商売していますが、10年後に本当に15%ぐらいお客さんがいなくなります。

そこで、何が大切かというと、やっぱり新しい変化にどう対応するかです。結果的に、地元がチャンスです。大企業というのは、大きいから小回りが利きません。今回のコロナ禍の状況はこの先どうなるのかわかりませんが、間違いなく、アフターコロナの時代が来ます。過去の業種を守るのも大事ですが、私はよく言います。「何をやっていくのですか」とです。「何屋さん」とかじゃなくて誰のために何をするのかです。そうなる仕事への発想が変わります。しかし、ただ一つだけ注意するのは、それを多角化したら駄目です。今の業種からぼんと飛んではけません。これからインターネットの時代です。インターネットで何かやるのか、こんなのは強みにならないです。今、持っている事業の強みを生かしながら関連するように展開していくことが重要です。バスケットボールに例えると、軸足があつてピポットっていう動き方をします。そういう形でやらないと、上手く展開できません。急に関係ない分野に飛んで行つたら駄目です。建設業であれば今やっている事業から同じ建設の技術を生かしながら違う事業へ展開をしたり、土産を作っているのであれば、土産の中で食品ではない他の商品を取り扱うなどあるはず

**菅原** 分かります。ありがとうございます



ます。まちづくりも同じようなものだと思います。今あるものに関連付けて、まちを良くしていこうとする発想が重要だと考えます。課題解決ばかりに目を当てると、今やっていることから離れてしまったりします。つまり、多角的に活動した結果、全く違うことに行ってしまうたりすると思います。今やっていること、今ある強いところや良いところをさらに引き伸ばすことによって仙台ならではのまちづくりができれば良いと思っています。

**大山** 海外に行かれた経験がある方はお分かりになられると思いますが、海外に行かれた時にこのまちいいなと感じるまち、きっとあると思います。そのまちを仙台にそのまま持つてはくることはできませんが、そのようなまち

を仙台で作れたら良いなと思います。『まちづくり提言』で触れた今回の定禅寺通り周辺の再構築もそのような考えから思い浮かびました。なにしろ日本のお店というのは、道路に背を向けて中で営んでいます。だけどイタリアへ行こうが、フランスへ行こうが、ロンドンへ行こうが、結局は道路に面してテーブルがあり、椅子があります。そこで、お客さんが歓談しているわけです。ですから、定禅寺通りはまさになにかができると思います。店中よりかやつぱり外のデッキの上がいいじゃないですか。

**菅原** そうですね。定禅寺通り周辺ではなくて駅の近くになってしましますが、宮城野通りとかも歩道が広いですし、歩道をそのようにしたら、大変にぎわうと思います。

**大山** そうです。だから、まちづくりの中でそこを屋台というわけにはいかないけれど、企画して使用を認めてもらうなど、とにかく声を上げないと何事も始まらないです。

### 事業承継と組織作り大切なこと

**菅原** 話は変わりますが、大山代表幹事は先代から事業承継をされて2018年に大山晃弘先輩（現アイリスオーヤマ株式会社代表取締役社長）に事業承継をされましたが、創業者の方と事業承継をする方の変遷さはまた違うと思いますか。如何お考えでしょうか。

**大山** それはたしかに、違います。

**菅原** ですが、承継する側もされる側もどちらも経験されたお立場として、この56年間、気を配ってこられたことなどなにかございますか。

**大山** 昔の有名な言葉で、「創業は易く守成は難し」とあります。圧倒的に守成かと思っています。

**菅原** 守成なのですね。

**大山** 私はどちらかというと創業者です。19歳で会社を継いだ時に社員5名で、本当に零細な企業でした。ほとんどの人を自分が雇用し、自分がこまめに大きくしてきました。私は54年間社長をしていました。今、先代から引き継いで56年。ですからアイリスオーヤマは全て隅から隅まで私が関わって、全身に毛細血管が行きわたって出来上がった体そのものです。そして、守成というか、引き継いだ人は心臓だけでもらっている。最初は分からないものです。ポンプを動かして、手足までが自分の思いどおりになるには、時間をかけていかないとならないのです。今、形のあるものを皆さんがもらって、縮小するわけにいかないじゃないですか。先代はそれこそ夜も寝ないで苦労した結果、今があるわけです。継承する中での苦労はありますが、はつきり言ってそれは苦労の次元が違います。甘いとかどうこうじゃなくて、荷物が重く大変です。

ただ、間違いなくポンプとなる心臓はもらったのです。これを早く動かしていきながら、血を回しながら脳に血

を送り手足に血を巡らせるのは少々時間がかかると思います。弊社みたいに大きくなり、グループ会社だけでももうそれこそ30社近くあると、これは大変です。創業者も大変だと思いますが、2代目のほうが大変です。

**菅原** なぜこのようなことをお聞きしたかという、先ほどの話に戻りますが、地方にもチャンスが来ている点です。住みやすいだけじゃなくて働く場所として良いかどうかというのはこの仙台にとつて大変重要だと思います。そこで働く方々を求めて、都市間を移動されてこのまちに来る企業もですが、この地元の企業が選ばれる企業であるかどうかというのも非常に大きなことだと思います。これからそれぞれの企業の未来を創っていく人たちに選んでもらえるか、ここでずっと働きたいと思ってもらえるかどうかというの、最終的にはまちづくりに大きく関わってくるのだと思いますので、それが企業の文化や会社全体をより良くすることによって、良いまちをつくる一つの貢献になると思っています。

**大山** 講演する機会も多く、本もたくさん書いていますが、最終的に皆さんの関心は人材育成、採用のことをよく聞かれます。執筆した本に『ユーザーインの経営』という本があります。※非売品

その本の冒頭に書きましたが、自分の目線に合った人は来ません。今いる人と一緒になってどのような企業をつくっていくかが重要です。サッカーで



も野球でも何でもそうです。力もなく、金もないのに有力選手なんかチームに絶対に来ないのです。今いるその選手をいかにチームワークでレベルを向上させて、強い集団をつくるかが重要です。高校野球の監督は良い例だと思います。有名強豪高校みたいに全国から集められているわけではない高校で、地元の選手をいかに育てるか、皆さん方もそういうことです。はつきり言って、経営側の皆さんより優秀な人が来たらあなた方が困ると思います。実は矛盾に思えますが、そういうことです。

**菅原** おっしゃるとおりです。

ないといけません。現実の足元をついた中で、私は小さくあっても大きくあつても自分の強みが大切になると思っています。僕が19歳の強みって何だったと思います？ 社員が帰った後、工場で夜中に機械を動かして夜通し作業したものです。だからお客さんが付いてきました。強みは19歳の若さです。そこで、アドバンテージを取りました。ただ、それだけです。大企業だったら出来なかつたけど、機械が3台しかなかったからできました。機械が30台あつたら僕一人頑張つても、無理ですよ。だから、ないものねだりをしないことです。

**菅原** 起業家だけでなく、後継者もこのように考え方を変えれば、適用していくということが非常に勉強になりました。

**大山** そのためには、明文化しなければなりません。私が、本も書いて朝礼集も書いているのは、後継者だけじゃなくて社員のために書いています。自分の頭の中にあるのは夢、夢というのは、勝手に人に伝わらないです。志というのは明文化しないと駄目です。志を共有しようと思つたら明文化します。チームでもそうじゃないですか。今年は優勝するなど目標を決めて、スローガンを決めて、明確にそれを打ち出して、一つになったチームは強いチームです。それを優秀な選手だけ集めてきて頑張れ、ホームランを打つたら報奨金をあげるといふチームは駄目なチームになってしまいます。

### 仙台青年会議所メンバーに向けて

**菅原** ありがとうございます。最後に仙台青年会議所のメンバーに対して、あるいはこれから、入会予定の会員に対して、今後の期待することはございますか。

**大山** 晃弘社長もアメリカから帰ってきて、地元仙台出身だけど、仙台で人との交流が少なかつたのでどんなことあつても青年会議所に入りなさいと言つて入会させた経緯があります。まず、青年会議所は人脈です。ビジネスは人と人のネットワーク、そして、正しい意味での人脈です。仙台青年会議所の現役会員は何人いますか？

**菅原** 今は、169名です。

**大山** 169名ですか、その人数であれば、会員みんなと仲良くなることは難しいけど、そんな中で5名、10名でもいいから気心知れた人を見つけ、どう付き合っていくかが重要です。その中には、フェース・トゥ・フェースの情報が大切になってきます。人間、誰だつてどんなに仲良しなお友達でも刺激が必要です。その刺激が今はなかなかないですよ。ですから、刺激のない青年会議所は駄目です。そういう意味で言うとうと、もつと自分の持つている志やお互い本音で付き合う仲間をどれだけ増やすのかが重要です。同業種じゃなくて異業種のほうがより良いです。

そういう点では青年会議所は、周りから見たら今は様々な方がいらつしやるようなので後継者の集まりのようなことを言われますが、ネットワークを作れば、良いと思います。グループとしてメンバーが友達同士であるからまたいろんな本音が言えるのも魅力だと思います。私は青年会議所に25歳から15年間、40歳までいたというのは非常に有意義な環境だと思えます。それと仙台だけじゃなくて、姉妹LOMつてありますか？

**菅原** あります。

**大山** やつぱりそこと交流を図ることです。青年会議所のネットワークを駆使して交流の輪を広げることです。

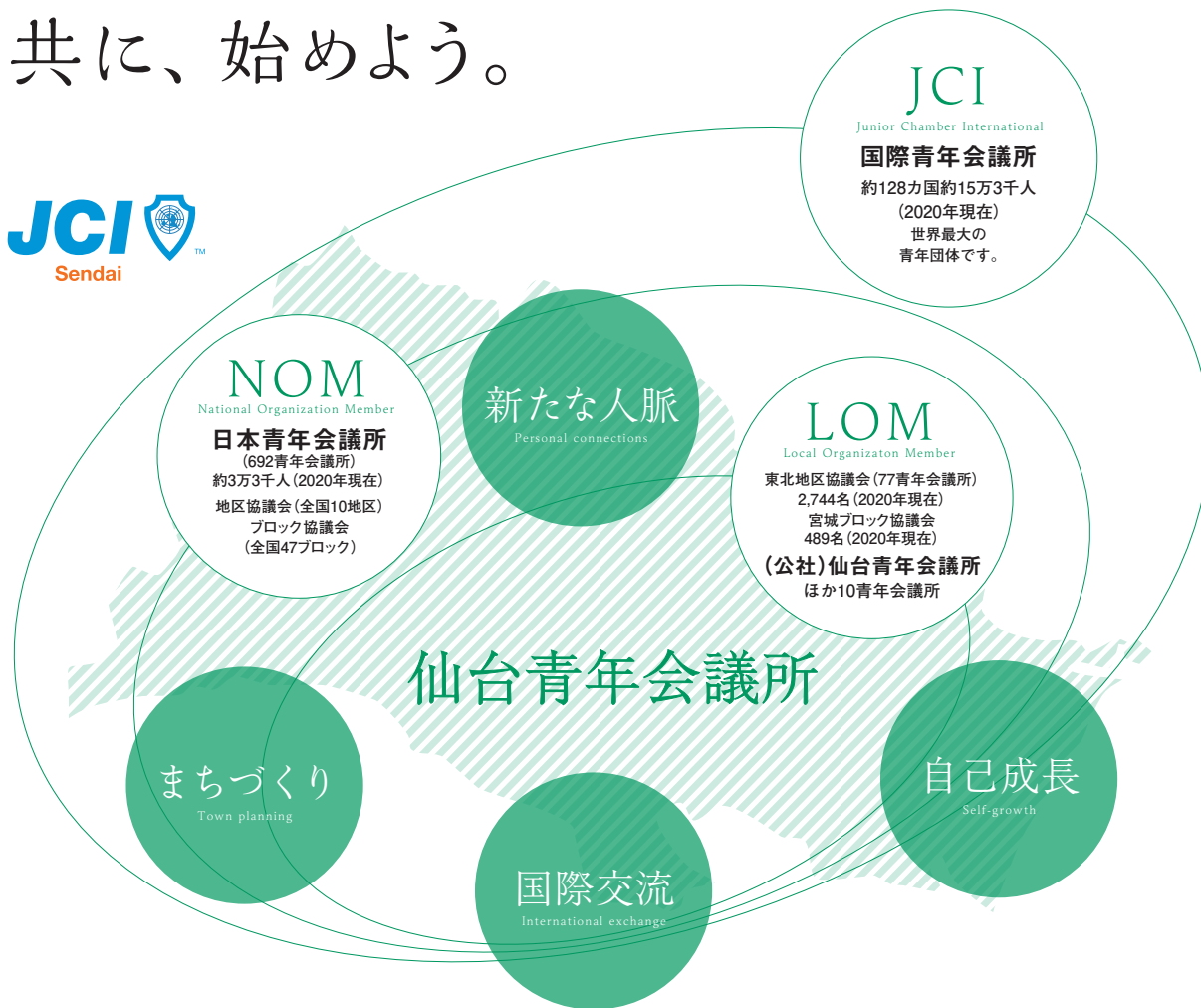
**菅原** はい。ありがとうございます。実践をしまります。本日はありがとうございました。

**大山** はい。大変でしょうけど、応援しています。ありがとうございます。

**大山 健太郎** (おおよま・けんたろう) アイリスグループ会長。1945年生まれ。大阪で父親が経営していたプラスチック加工の大山プロ工業所を、父の死に伴つて64年、19歳で引き継ぐ。社長業を53年間と長きにわたり務め、生活用品メーカーからLED照明・家電メーカーに業容拡大。藍綬褒章受章(2009年5月)、旭日重光章受章(2017年11月)

# 新 入 会 員 募 集

共に、始めよう。



## 仙台青年会議所とは？

仙台青年会議所は1951年（昭和26年）3月15日に発足し、以来69年に渡り私達の住み暮らす“<sup>まち</sup>仙台”のために文化、経済、防災、青少年育成、国際交流など、様々な角度から明るい豊かな社会の実現に向けて活動を実践してまいりました。会員会議所内部だけではなく、市民の方々と共に取り組んだ事業や、行政に働きかけ実現している事業も数多くあります。2021年3月15日で70周年を迎える仙台青年会議所は今後より推進力を増して運動を展開してまいります。

## 仙台青年会議所の特徴

仙台青年会議所へは、“<sup>まち</sup>仙台”をより良くしたいという想いのある青年であれば、男女問わず個人の意思によって入会できます。但し、入会時の年齢が25歳から37歳までという年齢制限を設けております。これは仙台青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された「青年の学び舎」だからです。また、役職や所属する委員会も毎年変更となる単年度制を用いており、これにより豊富な実践経験を積むことができます。そして、40歳になった会員は卒業することになります。単年度制と年齢制限は仙台青年会議所最大の特徴であり、限られた時間の中で活動を行い、その活動において仲間と切磋琢磨することで多くの気づきや学びを教授することができます。

仙台青年会議所は、地域に貢献していきたい想いを持った青年を募ります。



# 委員長あいさつ



公益社団法人 仙台青年会議所  
2021年度 会員開発委員会  
委員長 寺崎 修平

私は2018年に青年会議所へ入会しました。4年が経ち青年経済人としての自覚、活動で得ることのできた知識教養は自社へ持ち帰り会社や社員へ良い影響を与えていると確信しています。青年会議所の活動へのかかわり方はメンバーそれぞれです。入会したら今のペースより一歩踏み込んで活動してください。

その先にあなたの必要となるものが青年会議所には必ずあります。機会はチャンスです。是非この機会を離さずに掴んで自身の成長へ繋げてください。共に成長していきましょう！

## 入会までのスケジュール

4月入会后、約3ヶ月は仮会員としての活動となります。



### 入会資格

- 原則として年齢が入会申込年度末日(12月31日)の時点で25歳から37歳であること。
- 健全な社会人としての良識を持ち、法令を遵守した事業に従事していること。  
入会希望者は必要に応じて下記の書類を用意してください。
- ◇代表者、勤めている方ともに会社の履歴事項証明書(登記簿謄本、発行日より3ヶ月以内のもの)又は個人事業主の方は「個人事業の開廃業等届出」をご準備ください。
- ◇本年の住民票抄本(本人のみ、発行日より3ヶ月以内のもの)・年会費は15万円、入会金は6万円となります。

お問い合わせは  
こちらから



給排水衛生設備工事・浄化槽設備工事・冷暖房設備工事



株式会社

きょう せつ  
興 設

建設業許可 宮城県知事(般-30)第15323号  
管、水道施設、土木、とび・土工、舗装

特例浄化槽工事業

宮城・青森・岩手・秋田・山形・福島・新潟・栃木・茨城

仙台市上下水道工事指定店

地元密着型水道修繕登録店

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字中遠野原2番28 TEL: 022-226-7219 FAX: 022-226-7229

<http://www.kyosetsu.co.jp>

京都会議サテライト

1月23日(土)・24日(日)

毎年、公益社団法人日本青年会議所では、新年度のスタートとなる通常総会を始め諸会議の開催と1年間の青年会議所の方向性や政策を共有する場として京都にて京都会議が開催されます。

しかし、本年度の京都会議は新型コロナウイルス拡大のため、各地で発令された緊急事態宣言を鑑みてオンライン配信のみで開催されており、仙台青年会議所ではコロナ対策を講じたうえで、メンバー向けにサテライト会場を設けてオンライン視聴を行いました。

2日目は、新年式典が行われ、公益社団法人日本青年会議所第70代会頭野晃君より所信が表明されました。「輝く個が切り拓く 真に持続可能な国 日本の創造」を基本理念として、2021年度の日本青年会議所の運動がスタートしました。



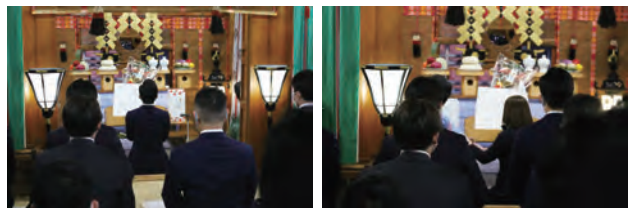
御祈祷

1月6日(水)

仙台東照宮にて2021年度の事業の成功、第34回国際アカデミーの成功、仙台七夕花火祭の安心、安全な開催そして、メンバー一人ひとりのご健勝とご多幸をご祈祷していただきました。

菅原啓太理事長が掲げますスローガン「Stand Out! ～次世代がより豊かになる仙台へ～」のもと、明るい豊かな社会の実現を目指して、活動をしてまいります。

本年も私たちの活動にご理解、ご賛同をいただきますようお願い申し上げます。



蕎麦・めし処

萩ノ宮製麺所



宮城県仙台市若林区中倉3丁目16-10

営業時間 11:00～14:30

近日、茂庭店オープン!

## 第1回通常総会

2月15日(月)

2021年2月15日(月)に第1回通常総会を開催しました。通常総会は、当青年会議所の最高意思決定機関であり、年に2回開催されます。

本総会は2月13日(土)に発生した福島県沖の地震により当初開催予定だった会場が使えない中、歩みを止めないという理事長の思いと担当委員会の機動力により急遽会場を変更し総会を開催することができました。

また、新型コロナウイルス感染予防を徹底した中で、仙台青年会議所の2020年の活動を総括するとともに、2021年度の方針や予算等が承認されました。

それぞれが活動を行う意識を高め、改めて本年度の運動を力強く推進してまいります。



## 新年式典 (第1回例会)

1月26日(火)

公益社団法人仙台青年会議所2021年度新年式典を開催いたしました。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため規模を縮小して感染予防対策を徹底したうえで式典のみ開催し、2020年度の事業報告と第70代理事長菅原啓太君より2021度の運動の方向性をお伝えさせていただきました。

式典では、仙台市市長の郡和子様、仙台商工会議所副会頭の庄子正文様にご臨席いただき、新年度に対する期待と励ましと70周年のお祝いをいただきました。また、青年会議所関係者として、スポンサー青年会議所である公益社団法人東京青年会議所2021年度理事長の外口真大君、公益社団法人日本青年会議所2021年度会頭野並晃君からビデオメッセージにてご挨拶をいただきました。さらに、仙台JCOB会 会長 藤崎三郎助様にもご挨拶をいただきました。

その他、各界より多くの方にご来場いただきまして、誠に感謝申し上げます。

2021年度の公益社団法人仙台青年会議所は「Stand out! ~次世代がより豊かになる仙台へ~」をスローガンに明るい豊かな社会の実現に向けて活動してまいります。本年も公益社団法人仙台青年会議所の運動にご協力、ご理解を賜りますようお願いいたします。



## 会計で会社を強くする!!

経営者、幹部の皆様  
創業を検討の皆様へ

戦略 **MG** マネジメントゲーム

開発から約40年 1万社 500万人が受講

＝参加者募集中＝

mg 仙台



来たれ初心者

戦略MGセミナー

開催日 4/6(火)・6/9(水)

時間 AM8:00～PM8:00

参加費 20,000円

特典 MG道場参加券1年分(12回)進呈!

「戦略MGセミナー」受講後は、「戦略MG道場」へ!  
道場は毎月開催、目指せ100期!

戦略MGマネジメントゲームとは

- ①会社経営を、ゲーム感覚で学ぶ経営シミュレーションゲームです
- ②会社を設立し、設備投資・採用・仕入・販売・経理・決算を自分一人で行います
- ③専門知識不要、ゲームから導かれ、貸借対照表・損益計算書を作成します

特長は全体的経営思考を高め、戦略的な計数管理能力が身につきます。気づきが学び!

半日・単座席学

簡単!経営計画策定講座

開催日 3/26(金)・7/6(火)

時間 PM1:30～PM5:00

参加費 10,000円

申込先 および開催会場

〒983-0868

仙台市宮城野区鉄砲町中5-6

税理士法人植松会計事務所 3F会議室

TEL: 022-297-2771

H P: www.uema2-yume.com

Mail: yume@uema2.com

講師 公認インストラクター  
税理士法人植松会計事務所皆様に  
全面的な運営支援を頂いています



NPO法人  
夢実現支援隊



## 70周年特別会議

議長 大高 成美

創立70年目を迎えた本年、多くの皆様のお力をお借りして誘致してまいりました「第34回国際アカデミー in 仙台」をJCI日本と連携し、70周年記念事業として開催させていただきます。また、70周年記念式典、<sup>まち</sup>仙台的国際化を推進する第4回公開例会を企画から実施まで行います。

そして、2021年にゴールを迎えるLOMビジョンの検証と、新たな指針策定に向けた調査研究や組織改革を行ってまいります。

新型コロナウイルスが社会に大きな影響を与えている状況において、私たちだからこそできることをしっかりと行うことで地域にインパクトを与え、組織が70年間紡いできた歴史と創始の精神のもと、未来を見据えた持続可能なまちづくりを推進してまいります。



## 法令会計審査会議

議長 佐々木 雅文

私たち法令会計審査会議は、公益社団法人であるJCI仙台的の財務監理や法人運営の面から、組織を支えています。

具体的には、①安定した財務基盤を確立するために、透明性の高い会計と財務監理を徹底すること、②地域社会に対する効果的な運動を可能とするために、予算及び決算の適正な収支を確認し、コンプライアンスを審査すること、③法人の諸手続を適格かつ迅速に行うこと、④定款及び諸規程の検証や変更を行うことなどを通して公益社団法人格に適した体制を整えます。

その他、JCI仙台が行った事業を国内、世界へ広く発信するため、JCIが主催する各AWARDSへの申請を行います。また、地域の有為な人財を応援するため、JCI日本が行うTOYP（The Outstanding Young Persons：旧人間力大賞）へのエントリーも進めてまいります。



## 七夕花火祭特別委員会

特別委員長 齋藤 恵太

七夕花火祭特別委員会では、1月26日に開催しました新年式典（第1回例会）を担当し、昨年度の活動報告と本年度の運動の方向性を、日頃よりお世話になっている皆様へ発信いたしました。ご出席またご視聴いただきました皆様へ心より感謝申し上げます。

また、第52回目となる仙台七夕花火祭を担当させていただきます。半世紀以上にわたり市民の皆様が親しまれてきた仙台七夕花火祭を、このような社会情勢下であっても開催できるように万全の準備を進めております。さらに、持続可能な仙台七夕花火祭への調査、検証も行います。

一年間、皆様のご理解・ご協力を賜りながら、次世代がより豊かになる明るい仙台の実現に向けて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 地域イノベーション創造委員会

委員長 林 祐子

当委員会は、地域の活力となる社会の構築と次世代を担う人材の確保に向けた運動を行います。

まずは、<sup>まち</sup>仙台に住み暮らす若者が地域経済人と共に課題解決に取り組む機会を提供し、次世代を牽引する人材として必要な要素を見出していきます。そして、各関係機関と地元企業によって<sup>まち</sup>仙台で働くことや居住環境の魅力を認識した若者に対し、まちづくりに関わる環境を構築することで、好循環を生み出す人材の育成につなぐ事業を展開します。

さらに、産官学民の連携による地域活性化のもと、<sup>まち</sup>仙台の未来が希望に溢れる市民主体のまちづくりとなる重要性を市民一人ひとりに波及するとともに、持続的発展に寄与する環境を創出する人材の育成につなぐ例会を実施します。



## 子どもの未来創造委員会

委員長 高橋 克也

子どもの未来創造委員会では、親と子どもの新しい価値観が生みだす豊かな心の育成に向けて、親子で将来の可能性を高め合うことで、持続可能な人財育成の基盤を構築いたします。

事業では、子どもたちに普段体験できない経験を通して、生活環境の違いを学ぶ機会を提供し、新しいことに挑戦する行動力を高めるとともに学びに対する価値観を上げます。また、親も体験に積極的にに関わり、普段教えることのできない教育を通して生きる力を伝える機会を創出し、大人の教育に対する広い視野と寛容性を育みます。

そして、公開例会では、子どもに自ら閃く体験の場を通して課題解決力を養います。また、大人が教育に対する新しい学びを享受する機会を創り、教育に対する視座を高めます。



## 会員開発委員会

委員長 寺崎 修平

メンバー一人ひとりが会員拡大の重要性と存在意義を理解し、入会候補者の方に対してJC活動を通して得られる魅力を伝え、組織の価値観に共感を持った方々の入会につなげてまいります。また、新入会員の研修につきましては、同期入会の仲間と共に学び活動することにより絆を深め、JC運動の基礎知識を理解して地域発展に向けた行動を起こす高い志と行動力を身に着けることで仙台を牽引する青年リーダーへと育成してまいります。

新入会員の皆様には、JCI仙台に入会したことで出会えた仲間と一緒に成長していただき、JCの楽しさを実感してもらおうことで、次年度へのステップアップとなるように運営していきたいと考えております。一年間どうぞよろしくお願いたします。



## 資質向上委員会

委員長 文屋 恵輔

資質向上委員会では、メンバーの意識統一、学びのきっかけを作る、事業のトレーニングの目的等で行われる「例会」を年4回、メンバー向けのものを担当いたします。

3月に担当する例会ではメンバーと諸先輩方が一緒に創立を祝う例会を開催し、5月には国際がテーマの講演会など、それぞれの例会で次世代を見据えたコンセプトを持って開催してまいります。委員会名が示すとおりメンバーの資質の向上を図り一人ひとりの成長につなげることで、仙台の発展に寄与する組織として更なる進化を目指します。

コロナ禍の中での集まっての例会の開催は難しいものもありますが、新しい手法を取り入れながら、一年間精一杯取り組んでまいりたいと思います。



## 広報委員会

委員長 高橋 圭

広報委員会では、JCI仙台の公式ウェブサイト、各種SNSでの情報発信と、私たちの活動を積極的に伝える広報誌「<sup>のぞみ</sup>NOZOMI」の作成、発刊をすることでメンバーをはじめ、市民の皆様や関係者の皆様へ向けて、情報を発信します。また、メンバーに向けてメールマガジンの配信を実施し、組織内の広報も担当いたします。

そして、メンバー向けの例会を2月に担当し、メディアリテラシーをテーマに講師をお招きし、メンバーの情報発信に関する重要性を認識していただく内容の例会を実施いたします。

JCI仙台の存在価値を高めていくために発信内容を充実させて広報を行ってまいります。どうぞよろしくお願いたします。



### 渉外委員会

委員長 後藤 泰己

渉外委員会では、様々な成長の機会に触れることができる青年会議所の各種大会の案内及び参加動員を行うとともに、各所で活躍している出向メンバーの支援を行います。

また、姉妹青年会議所との交流や各種渉外業務を行うことに加え、6月の対内例会を担当し、7月に仙台の地で行われる第34回国際アカデミー in 仙台に向けて、メンバー一人ひとりの国際交流に対する主体性を高めるための例会を開催します。

コロナ禍において各種大会や国際交流の形がこれまでと異なるものとなることが予想されますが、各種大会や例会を通して新たな学びの機会を提供できるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



### 総務委員会

委員長 佐藤 ありさ

様々な事業、例会をより良いものにする会議を行う団体の中で、当委員会は会議の準備、運営を行います。本年度は新しいシステムも導入し、組織運営の効率化を図ってまいります。また、JCI仙台の今後の方向性を決定する最高意思決定機関である通常総会の設えを行います。そして、担当する第13回例会では、一年間の活動を振り返り、JCI仙台の方向性を特に理解し積極的に活動した個人と組織の功績に対して選ばれる褒賞を行うとともに、卒業するメンバーに向けてこれまでの活動に対する労いと感謝の気持ちを込めて卒業式の準備を進めてまいります。

総務委員会はJCI仙台の下支えとして、組織運営の効率化とメンバーの充実したJCライフ構築に向けて、しっかりと各組織体のサポートを行ってまいります。

## あらゆるニーズに対応する 豊富なラインナップ



建設機械レンタル

建設機械販売

建設機械中古販売

建設機械修理



青葉商工から創立70年を超える信頼と実績

株式会社 エルピダあおば



TEL 022-358-7740

〒981-3304 宮城県富谷市ひより台2-2-2

<https://www.elupidaaoba.co.jp>

#### ■ 富谷営業所

〒981-3304  
宮城県富谷市ひより台2-2-2  
TEL 022-358-7740  
FAX 022-358-7430

#### ■ 仙台営業所

〒983-0013  
宮城県仙台市宮城野区中野2-4-4  
TEL 022-258-0511  
FAX 022-258-0522

#### ■ 石巻営業所

〒986-0861  
宮城県石巻市蛇田字境塚1  
TEL 0225-94-9790  
FAX 0225-94-9795



2021年度  
広報委員会

- |        |      |      |
|--------|------|------|
| ■ 委員長  | 橋川 高 | 主司 傑 |
| ■ 副委員長 | 渡邊 阿 | 竜 一郎 |
| ■ 幹事   | 宮本 阿 | 仲 光  |
| ■ 幹事   | 海山 小 | 慶 由  |
| ■ 委員   | 榊 高  | 智 勇  |
| ■ 委員   | 山 森  | 欣 太  |
| ■ 委員   | 榎 三  | 俊 也  |
| ■ 委員   |      | 剛 忠  |

広報誌「NOZOMI」427号をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。2021年度広報委員会は、メンバーの皆さんに「面白い!!」と思っただけの広報発信を意識して、メルマガやSNSなどにこだわりと様々な工夫を持って活動をしております。そして、「NOZOMI」も同様に読者のみなさまにとって、発刊が待ち遠しく愛される広報誌になってほしいと思っております。私事ではございますが、「NOZOMI」発刊に携わり、委員会内で『編集長』と呼ばれることに悦びと快感を覚えております。1年間、編集長として心を燃やして想いを込めて「NOZOMI」をお届けしたいと思っております。

2021年度の公益社団法人 仙台青年会議所のスローガンは「Stand Out!」次世代がより豊かになる仙台へです。「NOZOMI」427号は、理事長挨拶を皮切りに様々な特集を通して、仙台青年会議所メンバーが今まで以上に挑戦を恐れず、突出してパワフルな活動としていく熱意を込めました。

最後に2021年2月13日(土)に発生しました福島県沖の地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日でも早くみなさまに穏やかな日々が訪れますことを願っております。

広報委員会 副委員長 渡邊 傑



# 株式会社 ヤマトサービス

ずっと笑顔でいられる人生を

仙台「四方よし」宣言企業認定

宮城県で一番の  
ホワイト企業を目指すゴリラグループ



# 「いま」と「みらい」をつなぎ 人が集うまちづくり。

私たちは、土木技術のあり方を考究し、  
美しい自然と共存できる、強靱でしなやかなまちを、  
豊かな生活環境を創り続けます。



人・技術・信頼で未来を拓く

**TAKAKO**

<http://www.kk-takako.biz/>